

□ □ □ □ □ □ □ □ □
公益社団法人 福岡県人権研究所
“りべらしおん” No. 50 (2023/6/14)
□ □ □ □ □ □ □ □ □

I <報告>

(1) 史資料プロジェクト

2023年度第2回は、「全九州水平社創立100年を迎えて」という標題で会員の竹森健二郎さんより、パワーポイントによって提案していただきました。はじめにの中で、水平社運動と融和運動は、対立の関係しか語られないことが多いが、それだけではないと資料から考えていきたい。と、提案の方向性を示されました。そして、次のような流れで説明されました。

1. 全国水平社の創立 2. 全九州水平社の創立 3. 融和運動の展開 4. 昭和恐慌から戦時下へ 5. 日中戦争の本格化と水平運動 6. 戦時下の融和運動の展開

次回（第3回）7月8日（土）も竹森健二郎さんから提案していただきます。内容は、第2回の続きになります。有馬頼寧（融和運動より一歩進んだ解放運動に近い思想）に焦点を当て、大名の子孫である有馬がなぜこのような取り組みをしたのを語っていただきます。

II <お知らせ>

(1) ウリ・サフェ第28回企画 講演&パネルディスカッション

日時：6月18日（日）13:30～16:30（開場 13:00）

内容：第1部 講演「ヘイトスピーチ解消のための条例制定に向けて」

講師：師岡康子さん（弁護士）

第2部 パネルディスカッション

会場：福岡県弁護士会館・3F 大会議室 301号室

（福岡市中央区六本松 4-2-5）

<https://uri-safe.webnode.jp>

(2) 『史実と授業・啓発の結合をめざして』

『解放令から水平社創立までの間の授業をつくる』直方地区研修講座

報告者1：片石智哉さん（直方市立上頓野小学校）

報告者2：関儀久さん（福岡県人権研究所 理事・PJ 研究員）

日時：7月1日（土）14:00～（受付 13:30～）

資料代：市民一般 1000円 会員・学生 500円

会場：直方市中央公民館 第3学習室

（直方市津田町 7-20）

問い合わせ：福岡県人権研究所 092-645-0388

(3) 『解放の父 松本治一郎への手紙—全国水平社を支えた人々との交流』出版記念講演会 （田原春次没50年記念集会）

日時：7月16日（日）14:00～16:00

内容：講演「田原春次と松本治一郎」

講師：関儀久さん（福岡県人権研究所 理事）

講演「田原春次と豊前地方の水平運動・農民運動」

講師：小正路淑泰さん（福岡県人権研究所 副理事長）

会場：行橋市中央公民館

（行橋市大橋 1-9-26）

(4) 第 70 回北九州人権フォーラム 21 市民講座

公益社団法人福岡県人権研究所 2023 年度「人権啓発担当者をつどい」

日時：7 月 19 日(水) 18:30～21:00（受付 18:00～）

内容：講演「今、若者たちの自己実現を保障するために(仮題)」

講師：小西清則さん（元、福岡県人権・同和教育協議会 会長）

会場：北九州市立小倉南生涯学習センター・4F 大ホール

（北九州市小倉南若園 5-1-5）

問合せ：090-2587-7822 北九州人権フォーラム 21 中島弘陽

・ イベント

<http://www.f-jinken.com/event.html>

・ 部落史部会

<http://www.f-jinken.com/activity/burakshi.html>

・ 教育部会

7 月 8 日(土)「学校におけるマスク着脱～学校の現状から探る～」

<http://www.f-jinken.com/activity/kyoiku.html>

・ ジェンダー部会

9 月 3 日(日)「森崎和江『匪俗の笛』を読む 学習会①」（講師：うりう ひさこ さん）

<http://www.f-jinken.com/activity/gender.html>

・ 外国人部会

<http://www.f-jinken.com/activity/gaikokujin.html>

・ 啓発部会

6 月 24 日(土)「マイクロアグレッションについて考える(その3)(仮)」

<http://www.f-jinken.com/activity/keihatsu.html>

・ 海外人権スタディツアー企画部会

<http://www.f-jinken.com/activity/kaigaistudy.html>

・ 部落問題部会

<http://www.f-jinken.com/activity/burakumondai.html>

・ 特別プロジェクト「松本治一郎・井元麟之」研究会

<http://www.f-jinken.com/activity/project1.html>

Ⅲ＜会員の声＞

合同法要へのお誘い（松本京子さん）

昨年7月にビルマで戦死した兵士たちの法要が行われた。私の叔父は1945年7月6日死亡と伝えられる。享年22歳。若くして出征した彼のことを語る人も祖母の死後はいない。吉塚御堂にミャンマーから仏像が来日され、この叔父のことを思い出し、お願いした法要だった。

ビルマ戦線に従軍したのは約30万人、戦死・戦病死者は18万人といわれる。40度を越す暑さ、雨季には膝まで泥濘になるという野、十分な食糧も装備もなく戦わされた若者たち。無謀な戦略のため、その退路は日本人兵士たちの「白骨街道」だったと伝えられるビルマの山野。

読経して下さった滝野隆さんは「毎年7月には必ず合同法要を続けます。どなたにでもさせていただきます。年に一度、心を合わせて誠心誠意亡くなった人たちのことを思い出しましょう」と言われた。今年も下記の要領で法要を行います。

戦死者の無念とその家族の悲嘆や苦悩を忘れ、今も世界中で戦争の殺戮が繰り返されています。ビルマでの戦没者がいない方も参列歓迎です。亡くなった人、戦禍で苦しんでいる人のことを覚えてひと時、ご一緒しましょう。読経後にミャンマー現状報告もあります。

日時：2023年7月8日（土）13時～14時

場所：吉塚リトルマーケット 吉塚御堂

ミャンマー人僧侶による読経を予定しています。

〔人権研究所 書籍販売〕

新刊『「寝た子」はネットで起こされる！？—ネット人権侵害と部落差別—』（川口泰司著）

新刊・既刊のお求めはこちらから↓

<https://books-f-jinken.raku-uru.jp/>

当研究所 HP、コラム「羅針盤 PART II」

<http://www.f-jinken.com/index.html>

研究所フェイスブック

<https://www.facebook.com/fukuokajinkenken/>

☆ニュースのバックナンバーは下記研究所公式サイトでご覧いただけます。

<http://www.f-jinken.com/newsliberacion.html>

◇みなさんの投稿お待ちしております。

info@f-jinken.com （登録解除はこちらから）

【公益社団法人福岡県人権研究所は、会員の会費で運営されています。】